

# 県立高校を核とした地域人材育成の推進 ～田川の未来を担う人づくりのために～

## 1. 現状と課題

福岡県全体の状況

**少子化の進行**  
中学卒業生数の減少

**定員割れの発生**  
多くの県立高校で常態化

**高校の魅力低下**  
選ばれない学校に

**若者の県外流出**  
地域の将来を担う人材が減少

**地域活力の低下**  
人口減少・経済縮小の悪循環

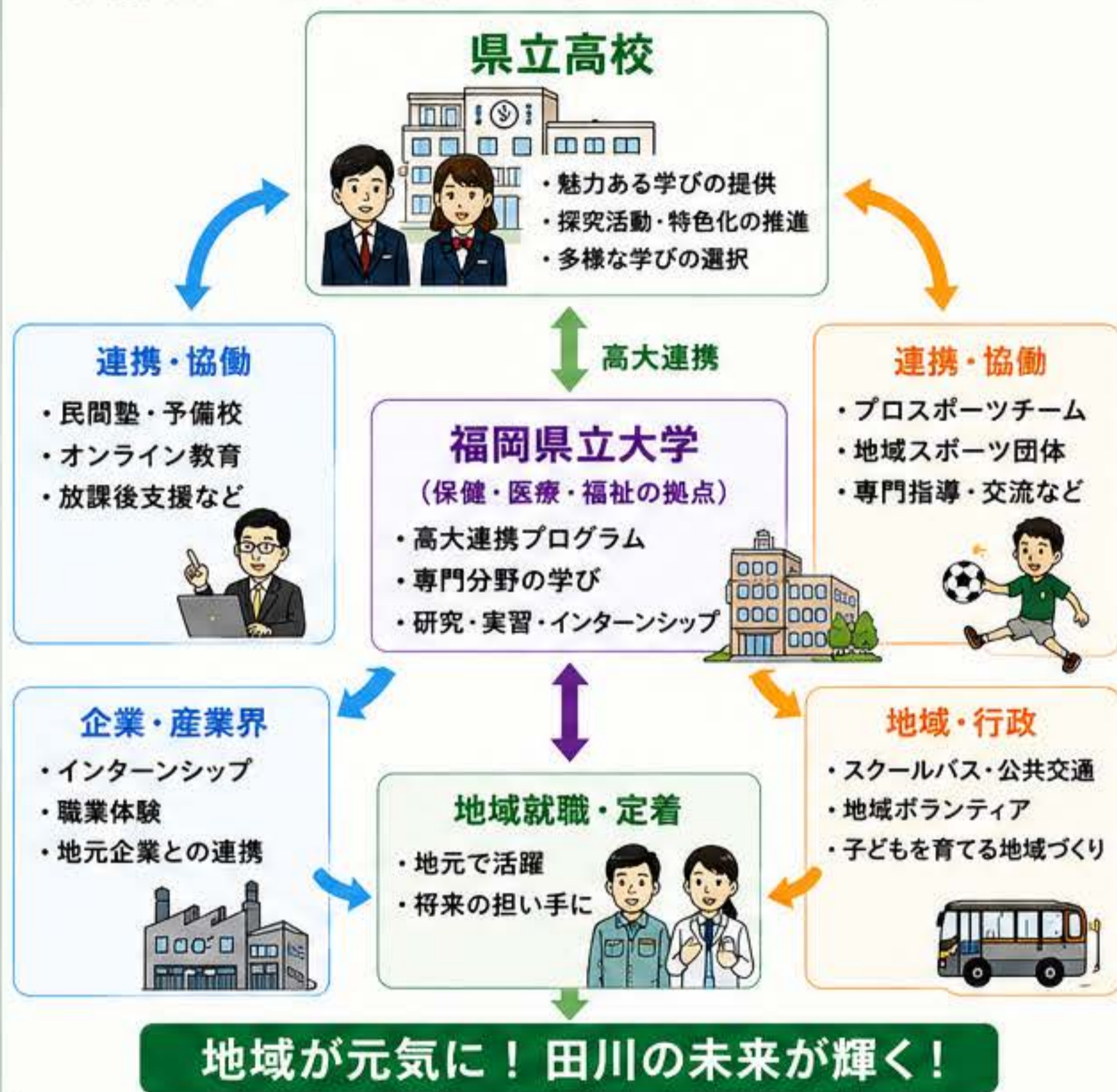
### 田川地域の課題（現場の声）

- 少子化による生徒数の減少
- 定員割れの常態化
- 通学環境の課題
- 学習機会の地域格差
- 特色ある学校づくりの必要性

これは学校だけの問題ではなく、地域の未来に関わる重要な課題です。

## 2. 解決の方向性（田川モデル）

教育資源をつなぎ、地域で人を育て、地域に還す仕組みをつくる！



## 3. 私が考える県への提案

### 1 民間教育機関との連携強化

- 大手予備校や学習塾との連携
- オンライン授業の活用
- 放課後の学習支援の充実



### 2 スポーツ団体との連携強化

- プロスポーツチームとの交流
- 専門指導者による技術指導
- 部活動の活性化と特色化



### 3 通学環境の改善

- スクールバスの拡充
- コミュニティバスとの連携
- 公共交通を活用した通学支援



### 4 福岡県立大学との高大接続強化

- 高大連携プログラムの拡充
- 医療・福祉・看護人材の育成
- 地域定着につながる仕組みづくり



県全体の高校教育改革と連動しながら、田川から「**地域人材循環モデル**」を実現します！

## 自民党代表質問での主な答弁（要約）

### 【知事答弁】

- ガバメントクラウドファンディングの検討
- 卒業生や地域の思いを支援につなげ、学校の特色ある教育活動を支援する。



### 【教育長答弁】

- 高校教育改革実施計画を本年度中に策定
- 大学や産業界と連携し、魅力向上を推進
- 専門高校の機能強化、普通科の魅力向上
- 高校入試の改善  
(第二志望校制度の拡大等)



## 人づくりは 未来への最大の投資

かつて田川は石炭という地下資源によって日本の発展を支えました。しかし、これからの時代に必要なのは「人」という資源です。石炭は掘れば減ります。しかし、人材は育てれば育てるほど地域の力となり、その力は次の世代へ受け継がれていきます。



私は今後も、県立高校と福岡県立大学を核とした人づくり・地域づくりに全力で取り組んでまいります！